

■日時：平成29年12月13日（水）午後6：00～午後8：00

■場所：四日市商工会議所 3階大会議室

■出席者：

奥野信宏委員長、有賀隆委員、伊藤美香委員、岡田邦彦委員、岡田博子委員、水谷重信委員、種橋潤治委員、中井孝幸委員、野村愛一郎委員、福永智子委員、藤井信雄委員、葛西文雄委員

■議事：

- 1 市民等からの意見の聴取について
- 2 中心市街地拠点施設整備 基本計画（案）について

■内容

## 1 市民等からの意見の聴取について

資料に基づき事務局が説明。

<意見交換>

委員長

- ・今の説明に関してご質問等があればご発言いただきたい。

E 委員

- ・1 ページのシンポジウム及び懇談会におけるアンケートの集計結果について、「理解できた」が79%となっているが、このままの比率で賛成と見られる可能性がある。「理解できた」＝「賛成」とは限らない。もう少し調査するべきではないか。

事務局

- ・資料説明でも申し上げたとおり、賛成、反対ではなく、あくまで市が説明した内容について理解できたかどうかを問うている。前回の委員会でもご指摘があり、我々も気を付けながら説明してきており、今後もそのように注意していきたいと考えているため、よろしく願いたい。

## 2 中心市街地拠点施設整備 基本計画（案）について

①1章から3章まで、資料に基づき事務局が説明。

<意見交換>

委員長

- ・今の説明に関してご質問等があればご発言いただきたい。

G 委員

- ・基本計画の策定に向けた資料なので、資料10ページに書かれている図書館の利用状況について、もう少し詳しく出されるとよい。また、算出できるかわからないが、例えばどこから来られているかなど。現状の分析をして基本計画案につなげたいので、もう少し追加されてもいいという印象を持った。

事務局

- ・図書館専門部会ではもう少し詳しい資料を提示させていただいたかと思う。今回の基本計画では、本日は提示できていないが資料編も作成していく予定であり、その中で図書館に関する現状資料の充実を図りたい。

#### 委員長

- ・資料編の中に入れるということで、事務局には今後検討していただきたい。

#### C 委員

- ・今のご意見に関連して、図書館利用者の推移について、それがわかるよう複数年分のデータを整理していただければと思う。

#### D 委員

- ・平成 29 年度第 1 回図書館協議会で出された意見は基本計画の中では反映されないのか。

#### 事務局

- ・その点は、後ほど 4 章、5 章で出てくる。

#### G 委員

- ・5 ページの利用対象者の中で、「子育て世代」というところで読み取れなくもないが、「小さな子ども」も対象にしていきたい。

#### 事務局

- ・5 ページで例示をさせていただく。

②4 章について、資料に基づき事務局が説明。

#### <意見交換>

#### 委員長

- ・私も他の自治体の市民交流施設の事例に関わっているが、駐車場、駐輪場はどこでも問題となる。桑名市の事例も評判は高いが駐輪場が少なく、途中で駐車場の一部を駐輪場に変えた。中井委員と関わっている愛知県安城市の事例では、知人の女性から「あの駐車場は何よ」とお叱りを受けた。完成してから視察したところ、素晴らしい立体駐車場はできていると思ったが、役所の方に話を聞いたところ、多くの安城市民は地上の駐車場はよく使っているが立体駐車場の利用には慣れていないという。使っていくうちにだんだん慣れてくるだろうと役所の方は言われていた。デザイン、見栄えで駐車場の使いやすさ、市民の印象も変わると思う。

#### F 委員

- ・駐車場の件について、今の市役所を利用する方々と新しく図書館を利用する方々について、特に分けることはされないと思うので、市営中央駐車場が満車の際に市役所利用者から不満が出るという懸念はないのか。

#### 事務局

- ・我々も懸念しているところで、現在の市営中央駐車場の混雑具合を調査しており、火曜日、木曜日の 10 時、14 時がピークで市営中央駐車場入口から三滝通りまで並ぶこともある。公用車の中で緊急車両など必要なものを選別しながら、市営中央駐車場外に出すことも考えていく必要がある。市営中央駐車場の収容能力は 412 台あるが、時間貸は 165 台であり、公用車の一部を中央通り南側の職員用駐車場に移動することと、敷地の一部におもいやり駐車場を確保することで需要への対応を検討している。

#### F 委員

- ・資料の数字を見ていると、今の市役所利用者から不満が出るという懸念があって質問させていただいた。

## 事務局

- ・図書館の今の利用形態で心配なのが平日のピーク時で、子育て世代の若いお母さん方は午前中に利用することが多く、おもいやり駐車場を利用していただくことで対応したい。一方、平日の夕方や休日は車で来られる方々にも対応できると思う。

## C 委員

- ・市役所の住民サービスの窓口は外に出しているのか。

## 事務局

- ・近鉄四日市駅の1階に市民窓口サービスカウンターを設置しており、10年ほど経っている。

## E 委員

- ・駐車場は、施設を生かすか殺すかの最も大事な課題だと思う。説明の中で、ピーク時に足りない分を周辺の民間駐車場で補うとあったが、果たして利用者がそのように使ってくれるのか。市役所利用者と図書館利用者が同じ駐車場を使うとなると、今でも市役所周辺で会議がある時に市営中央駐車場が満車で、駐車する時間も見込んで他所に駐車しないと間に合わないことが多い。その他にも公共交通機関で補うとも書かれているが、市民の多くは自動車、自転車など自分の足でアクセスすると思う。市民の意見でも懸念材料として駐車場のことがあげられている。図書館を核とした複合施設の場所として市役所横がふさわしい場所なのか、立地の問題もある。私自身はこの委員会には2回目の参加で、過去の資料も読ませていただいているが、駐車場と立地場所の懸念があり、もっと時間を重ねて検討するべきだと思う。

## D 委員

- ・滞在型図書館としての議論が中心になっている中、今の図書館は駐車時間の制約もなく滞在でき使いやすいと思う。2、3時間の駐車券となっているが、2時間では足りないので3時間以上は使えるようにしてほしい。

## 委員長

- ・交流の拠点としての図書館における利用のあり方として、朝から夕方まで利用する方もあると思う。

## A 委員

- ・駐車場について、ピーク時の対応を拠点施設での台数確保だけでなく、例えば路上での一時駐車など可能かどうか検討していただきたい。拠点施設での対応については今回の資料でも工夫されたことは理解できるが、依然としてみなさんの懸念に駐車場の問題がある。全て拠点施設だけで対応するのは過度な負荷が施設側にかかるので、台数確保とともに利用のしやすさの観点から再度ご検討いただきたい。
- ・4章全体の話として、16ページ以降において計画対象事項は過不足なく網羅していただいております、その点はまず評価したい。用途、機能の考え方、大まかな面積配分など。16ページから施設の規模の話に直接入ってきているが、施設計画全体の考え方、この委員会で何回も検討してみなさんから出された意見など想いの部分が、文章として最初に入っていた方がいいと思う。私としては対象区域がいい場所だと思っており、中央通りと三滝通りに面する角地になる。また、コンパクトな敷地であるがゆえに積層しなければならないが、図書館を3階から6階として、1、2階と7階を他の機能が挟み、屋上に眺望のスペースがあるなど。このようになっていった考え方を整理する。一つは、市役所東側で敷地の制約はあるが、中心市街地の活性化に向けて市民が来たいと思う交流拠点の整備に向けて公有地を最大限に生かす。二つ目は、敷地に制約があるため床を積層する中で、以前に市長がおっしゃったように港が見える場所に眺望、交流スペースを設けられる。三つ目は、都市軸の中央通りと、イベント交流軸の三滝通りの両方に面する角地で唯一無二の場所であり、2つのメインエントランスを両軸に対してとる。四つ目は、他の行政機関の利用、駐車場の相互利用などシビックコアとなる場所である。その特性

を生かして、IoTを使って情報発信、市民活動の相互発信機能など双方向の情報発信を行う。

- ・今申しあげたことは、1ページに書かれている施設の目的を受け止める「施設計画の考え方」とし、16ページの冒頭に書いた方がよい。

他にも、小さな子どもからお年寄りまで多世代が利用するため、だれもが利用しやすいよう低層階にエスカレーターなど縦方向の動線に配慮する。

共用スペースが非常に大事で、委員長が以前に「ラーニングコモンズ」というキーワードをおっしゃっていたように「コモンズ」が非常に大事になる。世代を超えた人達が違う階を利用している様子について、共用スペースを介して縦方向で見ることができる。

#### 事務局

- ・後半のご指摘について、今の資料ではなぜこの場所かという話からスタートしているため、施設計画について規模論から入っているが、その手前に考え方の整理を1章から3章のつながりも含めて加えていきたい。
- ・駐車場のピーク対応については、これまでに調べたデータがあり、現状の図書館の利用と市営中央駐車場、くすの木パーキングの利用と重ね合わせている。平日の夜間と休日は大丈夫だと申し上げてきているが、ピーク対応をどのようにしていくかなど改めて検討をさせていただきたい。

#### 委員長

- ・有賀委員から非常に重要なキーワードが幾つか出ているが、新しい居場所づくりの視点が非常に大切だと思う。私どもの世代でいえば、司法試験を受ける人が朝一番に図書館に来て自分の居場所を確保し夜遅くまで静かに勉強していたが、それも居場所づくりだと思う。今は中高生が宿題をしたり、試験前に集まって一緒に勉強することをしている。他にも、高齢者の方が気に入った場所に朝から座って好きな本を読んだり居眠りをする、小さなお子さんなどは飲み物を飲んでも構わないなど1日を過ごせる。そのような癒しの機能もあり、色々な人々が色々な使い方をする。そうなること全部に答えなくてはならないのではないかという気もしている。

#### C 委員

- ・今までのお話を伺っていると、施設には限界があることを考えなくてはならない。交流という言葉はインターアクションと置き換えられ、例えば交流に付いてまわるものとして、泊まって何かやろうとした時にホテルなどが無いではないか、などともいわれかねない。交流拠点として重要なのは、そこが発火点となって周辺に広がりを持つことであり、この施設にあれもこれもと詰め込むのはよくない。また多世代交流というが、多世代とは何を意味するのか、世代の数が多くなることが必要なのか、あるいは世代間ということの意味しているのかわからない。中心市街地で交流となれば施設周辺の地域との交流ということが思い浮かぶが、多世代交流拠点とまで言われると何がしたいのかわからなくなる。そういう意味では物事を結びつける場であって、拠点施設で全てが行われるのではなくここがきっかけとなって周辺で行われてもいいと思う。

#### A 委員

- ・今回資料にCG・イメージが入っていてわかりやすくなったと思う。この資料は詳細な設計の内容を示すものではないとご説明はあったが、この委員会が終わってこのイメージが独り歩きしていった時に意図が伝わるように補足説明、キャプションをつけてほしい。例えば全体イメージについて、通りとのつながりをイメージしたのか、中が見えるイメージなのか、港が見えるイメージなのか、あるいは中央通りの緑地帯も整備された絵になっているので施設と一体的に整備されるという説明なども考えられる。同様に他の2枚のイメージ図もそうだが、施設計画の意図と対応したイメージ図となりその説明があると、より間違いなく理解していただけると思う。

#### 委員長

- ・イメージ図が今後世の中に出ていくことを考えると、このイメージ図通りに作っていけばスペースを全てもらえるというわけではない。そのことをご指摘いただいたと思う。

## G 委員

- ・有賀委員が最初におっしゃったように施設計画の最初に考え方を整理するのは賛成である。
- ・みなさんが気持ちよく使っていただくために特に重要だと思うのは、音のゾーニングである。こういう複合施設の場合は、静かに利用できる場所にもぎやかな場所も作る。静かに使えるところを作ってあげるのが大切だと思う。先ほど施設には限界があるというご指摘はあったが、さほど色々な居場所を作ってあげるべきだと思う。
- ・交流が行われるには出会いが重要で、施設イメージを膨らませるためにも施設計画の中で触れられるべきだと思う。ただ今回は基本計画なのでその中で目標として書かれれば良いと思う。
- ・駐車場については、休日の台数を中心に見ていただいていると思うが、平日は4分の1から5分の1になると思う。図書館について休日300台分を確保していただき、平日は市役所で使われている方プラス図書館利用者分60台くらい確保する。この数値は今の図書館そのままではなく、新しい施設で相当増えるだろうと予測している中でお伝えしている。駐車台数を減らしてもいいが、その分施設の利用者が減ると思う。360台は大変かもしれないが、頑張って300台は確保していただきたい。イベント時には2時間では足りないかもしれないが、大半の人は20～30分で帰っていくので、この300台というのは土日のピーク時に必要だということ、ずっと300台が必要ということではない。
- ・駐輪場の方は今の計画内容でいいと思う。

## 奥野委員長

- ・時間も限られているので、そろそろ次の章に移っていききたい。

## ③5章について、資料に基づき事務局が説明。

### <意見交換>

## 委員長

- ・今のご説明の中にあつた公的資産の活用というのはPREとあって、典型的なのは道路であり都市の中で大きな面積を占めている。それは車の空間というよりは、市民が楽しむ癒しの空間である。その他には、余ってきた学校施設もある。このような遊休資産を地域の活性化に向けて活用しようという動きである。しかし今は、広い歩道でもテーブルを出してお茶を飲むにはとても厳しい規制がある。このような公的資産、遊休資産を活用していかうという動きがある。
- ・5章については、I委員に口火を切っていただければと思う。

## I 委員

- ・我々の大学には中央図書館と日進図書館があり、中央図書館ではこの4月から業務委託を開始した。その経緯としては、日進図書館は既に業務委託の職員が運営しており、中央図書館は直営で運営していたが、大学基準協会から改善勧告として日進図書館に直営職員がいないのはよくないと言われ、日進図書館に直営職員を1人、中央図書館に業務委託の職員を派遣するというトレードを行ったというのが実際である。中央図書館のカウンターに業務委託の職員が並ぶが、今のところは学生の評判がよく、愛想がいいなど好感度である。開館時間も延長できている。今後数年経って、直営職員が他部署へ移動となった時に図書館の運営が上手くいっているかはわからない。
- ・資料に対する意見として、大学図書館を運営している立場から一部業務委託をするのはやむを得ないと思うし、柔軟に対応されると思う。一般的に指定管理の場合は一度契約すると5年は内容が変わらない場合が多い。何かあつた時に運営を柔軟に変えられるようにするべきだと思う。民間に運営を委託する場合に重要なのは直営職員の企画力で、こういう図書館にするという思いを盛り込んで仕様書を書けるかが重要となる。我々の大学図書館は問題だらけで、つい最近までスマートフォンで予約ができなかった。そういうのは他大学では既に導入しており、学生から意見を出してもらったようにした。

## 委員長

- ・今のお話に関連して、私は PPP の推進に関わっているが大事なのは自治体の職員の方々の方が能力を持っていらっしゃることである。

## E 委員

- ・過去の資料を拝見し、図書館については卓越した議論がなされて要点がまとめられていると思う。しかしながら立地条件について、資料説明の時にもリニアの相乗効果からも考えていると言われたが、今の公有地に限定されているのか、隣の庁舎も何十年も経過しておりこの先 40, 50 年を見据えた時にそれでいいのか。説明を聞いて理解はできたものの、今の場所ありきで検討が進められている感がある。シンポジウムの意見を見ている、懸念事項の意見が多い。自治会を束ねる立場から言わせていただくと、広報で概略の情報は伝わっていると思うが、今回の資料のような具体的な内容は市民にはまだ伝わっておらず、今後の動き方と市民への説明をもう少し検討された方がよいと思う。最後にこのような話で申し訳ない。

## 委員長

- ・国の審議会で議論になってスーパー・メガリージョンの構想が出された。その背景にあるのは、日本の高度成長期、昭和 40 年代までは四大都市圏が日本の成長のセンターになっていて、日本が成長したのはその成果を日本全体に波及させることに腐心していたことにある。今は地域格差が課題となっているが、先進国の中では一人当たりの地域格差は小さい方である。とはいえ東京一極集中が進んでいるが、この東京一極集中で日本を引っ張っていくのは無理だということとなり、スーパー・メガリージョン構想が打ち出された。東京、大阪、名古屋が一体となって日本の成長のパワーにして全国に波及させよう、人口増加の極にしようということを目指している。それから、リニア新幹線の開通が大阪まで 8 年前倒しと言われているが、これは資金的には前倒しも可能ということで大阪までつくるということを打ち出すために言われた。しかし、奈良付近を通ると遺跡がたくさんあるし、鈴鹿山脈を越えるのは大変だし、京都の方では京都に回して欲しいと要望があるなどその実現は難しいだろう。とはいえ、名古屋まででも開通すれば影響が大きく、例えば長野県の飯田は、東京、名古屋に出るのに今は 2 時間以上かかるが、リニア開通により両方に 20 数分で行けるようになる。料金の問題はあるが、大都市への通勤圏となって居住地となりうる可能性があるなど、四日市と飯田が同等の居住地となる可能性がある。今のご指摘のように、これから 10、20 年先は四日市では大きな変化が起きるであろうから、そういう将来を見据えた拠点づくりが必要であろう。

## J 委員

- ・今のご指摘に対して説明すると、この場所は議論を重ねて選んでおり、拠点施設の整備に向けた予算を検討するにあたっては、委員会で議論した成果を受けて、市として最終的に意思決定した内容を議会に説明し、その意見によって次に進むかどうかということがある。具体的に施設を整備するかどうかは基本設計、実施設計、事業化というプロセスが一般的である。この基本構想については、議会における予算審議を経て、場所を含めて議決したことに基づいていることをご理解いただきたい。
- ・資料 9 ページに、中心部の公共施設について竣工年など一覧で出ている。今の図書館が竣工したのは昭和 48 年で、昔、火葬場があった場所で中心部から外れた場所だったが、その後色んな集積が進んだ。文化会館は土地区画整理事業により当初小学校の予定地で保留地であったところを、市制 80 年の記念施設として建てられた。ここも当時は周りが田んぼだった。その後じばさん三重などが立地し、ララスクエアは四日市工業高校跡地において当時の津市のセンターパレスのような拠点をつくろうという話があり、市が土地を買って公共、民間の整備部分を分けて開発した。これで 26 年経っているが四日市の大きな拠点となっており、当時の検討が今でも通用する。今の対象地については、近年中心市街地に文化施設をつくっておらず、一般的に 2025 年問題と言われるように後期高齢者がどんどん増え、少子高齢化が進む中で街の活力をどのように保つかを考える時に、今回のような施設は、戦略的に市役所周辺の遊休地を使っていくことが、例えば JR 四日市駅を見据えた場合には都市戦略として必要性が高いと考えた。遊休地や低利用地の活用はどうあるべきかを考える中で、他の 3 つの都市公園との比較、検討のうえで今の場所に決まった。このように 3,

4年かけて検討し、場所、機能などの条件を付けて基本計画を検討するというで現在に至っている。

- ・また、財政基盤についても今は税金があるものの、今後減ってくることを考えると平準化ということも考える必要があり、この委員会でも検討してきている。繰り返しになるが、この場所の必然性については、港側に戦略的に繋げていくことも含めて設定しており、この委員会とその前の委員会での検討もあるため、補足説明をさせていただいた。

#### E 委員

- ・丁寧に説明をしていただいたがそのことは私も知っている。この委員会で時間をかけて検討されてきているとは思いますが、市民とかけ離れている感じがするので改めて発言させていただいた。

#### 委員長

- ・時間が迫っているので、まだご発言いただいている方をお願いしたい。

#### H 委員

- ・中心市街地のことに絞って申し上げたい。最初この話をいただいた時に、駐車場が大丈夫かと率直に思った。しかし、有賀委員からのご意見を伺って考えた時にこの場所が唯一無二であり必然性ということは理解できた。とはいえ駐車場という課題があるため考えてきたが、公共交通としてループバスを検討したり、あるいは先ほどのご意見のように市民サービスを外に出して分散化していくなど、これからの行政のあり方を見据えた未来志向で考える必要があると思った。施設が整備されるのは5、6年先なので、そのころには自動運転など新しい形態の技術もできてくるだろう。現状駐車場問題はありますが、20年先も同じような問題があるのか、私としては考えていきたい。

#### B 委員

- ・A3 資料として市民の意見をまとめていただいたことにお礼を申し上げたい。このような機会はこれからも続いていくと思うが、これらの貴重な意見を教育委員会として開示していただければと思う。
- ・「本は心のごちそう」だと思っていて、3 か月も図書館が休むのは異常に感じていて、予約のための窓口はあるということだが、会社やお店で3 か月休むことはあり得ないと思う。

#### 事務局

- ・図書館は現在工事休館をしており、今は吊天井の撤去をしている。大規模地震が来ると天井が落ちる可能性があり、来館者の安全確保のために撤去をするが、それが2 か月半かかる。その間、一般成人図書の書架にある9万冊を全部撤去する、また戻して開館に備えるということでトータル3か月の工事休館としている。自動車文庫という移動図書館は通常通り運行している。新刊は今買わないと買えないため今も週300から400冊購入している。それらを借りることができるよう、予約窓口を設置させていただいている。とはいえ中で本を選ぶことや学習などはできず、ご不便をおかけしている。

#### D 委員

- ・専門部会でも図書館協議会でも、私1人だけでなく、みなさんが、図書館は教育委員会が運営してほしいとずっと申し上げてきており、運営形態が並列で書かれている中で民間だけで運営されるというのが心配である。

#### 事務局

- ・そのあたりの内容が資料の中でわかるようにしたい。

#### I 委員

- ・資料45ページについて、真ん中の図書館のところに指定管理と書かれているが、図書館以外のところに指定管理を導入するのはいいが、図書館については一部業務委託、基本直営というのが私の

考えである。資料にも書かれているように指定管理となって運営を5年も固定されると四日市市でのノウハウがなくなってしまうおそれがある。

#### J 委員

- ・策定委員会は意見を言う場であり、これらの意見を踏まえて資料を作成、修正することは担保させていただく。その上で、策定委員会で取りまとめていただいた資料を市として検討し、議会に諮る。策定委員会の資料をそのままなく、財政など行政の運営上のことも加味して市として素案を出し、議会の中で意見を出していただく。1年以上かけて議論してきたので、みなさんの貴重な意見は資料の中にしみ込んでいると思う。現状の駐車場の問題と、2025年以降の将来の自動車利用や楽しい街を目指すことと折り合いをつけ、我々行政もそうだが議会でも判断されると思う。

#### 委員長

- ・指定管理については仰るような課題があると思う。4、5年の期間があると事業者は人的投資、物的投資ができないという状況にある。時間が来たので、あとは事務局にお願いしたい。

#### 事務局

- ・本日出たご意見を踏まえて、次回までに資料を修正したい。1月にもう1回策定委員会を開催したいと考えており、そこで出された資料をもとに市の内部で検討し、議会に諮った上で次の段階に進むかどうかが決まる。
- ・次回のスケジュール調整は、早急にさせていただきたい。なお、みなさまの日程が合わない場合には私どもが各委員へ説明に回らせていただくこともご承知おきいただきたい。

以上